

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



—106号—

発行日／令和4年7月10日

発行所／草津市大路2丁目11-33

TEL 077-561-6111

FAX 077-565-6101

HP <https://shigajou.or.jp>

## 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2022年度 第18回施設大会の開催

全国の都道府県に設置された、聴覚障害者情報提供施設53施設と4施設からなる、全国聴覚障害者情報提供施設協議会の2022年度総会が、6月17日（金）に名古屋市内でハイブリッド方式にて開催されました。協議会理事長の中西と施設長代理の戸知谷が参加しました。

聴覚障害者情報提供施設の事業運営並びに経営などに関する諸問題について研究・討議した2021年度の報告と2022年度の計画、決算・予算について全議案が承認され、あらたなスタートをきりました。主な報告としては、電話リレーサービス、遠隔手話サービス事業、映像情報提供事業に係るシステム構築に

関する厚生労働省への要望、意思疎通支援専門委員会、情報メディア等に関する専門委員会それぞれの報告でした。

総会に合わせて開催された研修では、厚生労働省社会援護局自立支援振興室室長補佐の富原博氏より「デジタル社会の実現に向けた聴覚障害者情報提供の役割」をテーマに講話がありました。字幕付き放送の普及は向上をみせているが、手話通訳（ワイプ）付の放送はワイプのオン・オフの技術を含め普及に至らないなどの話がありました。また、視覚障害者向けの情報を点字、音声データで提供するネットワークシステム「サピエ」を自身で研究開発、普及に尽

力された山田智直氏の報告をもとに、聴覚障害者版の研究を見据えた展望が話されました。シンポジウムでは、全日本ろうあ連盟石野理事長から、「ICTの活用やネットワークの構築は、たとえばパブリックコメントを手話で投稿し、多くの聴覚障害者で共有できる」など大きな可能性を示す話がありました。

だれもがICTを活用し情報にアクセスすることを可能とする。そのため情報提供施設の役割は大きい。身近な聴覚障害者の細かなニーズに耳を傾けながら、当事者は何を求めているのか、そのためにはどんな人材が必要かも私たちに課せられている、と感じました。



## 新規登録者に認定証の交付 ～意思疎通支援者～

4月23日（土）午前10時から2022年度新規登録意思疎通支援者授与式を行いました。

聴覚障害者センターの中西所長より認定証の交付があり、新規意思疎通支援者7名中5名が授与されました。引き続き、中西所長の挨拶、滋賀ろうあ協会の祐耆会長、滋賀県中途失聴難聴者協会の板垣会長代理のご挨拶とお祝い、そして激励の言葉をいただきました。新規意思疎通支援者のみなさんからも力強い決意表明があり、今後のご活躍に期



# いちご一会とちぎ国体 リハーサル大会視察（国スポ・障スポ）

## 手話・要約筆記ボランティア養成事業

2022年の国民体育大会（国体）、全国障害者スポーツ大会は、10月、栃木県で「いちご一会とちぎ国体」が開催されます。

これらの大会は、多くのボランティアに支えられて運営されます。滋賀県では、昭和56（1981）年「びわこ国体」が開催され、大会ボランティアをきっかけに多くの方が手話に親しみました。

2025年、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」のタイトルで、滋賀県国体が開かれます。多くのボランティアさんが支える国体をどのように運営しているのか、滋賀県はどんな準備をするのかを調べるために、5月21日22日に栃木県大会リハーサルを視察しました。

今回視察できたのは、身体障害バレーボールと水泳（身体障害・知的障害）、フライングディスク（身体障害・知的障害）の3種目で、いずれの会場も、障害のあるなしに関わらず、必要な情報が即座に伝わる工夫が十分か、どんな工夫がされているのかを中心に視察をしました。メインス

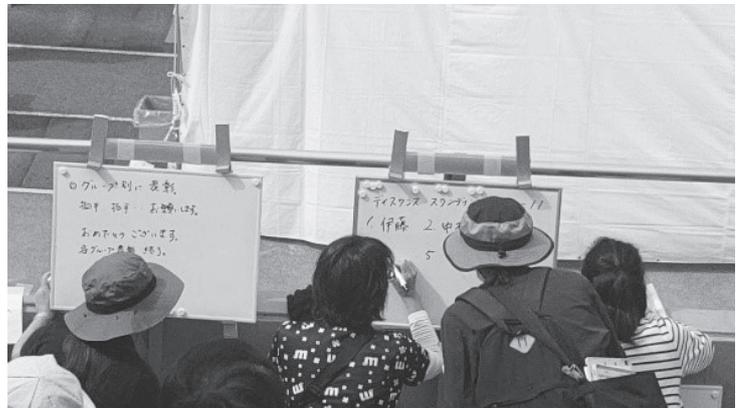
タジアムや体育館では、大型スクリーンに会場の映像と共に文字や手話が写し出されますが野外会場や小規模会場では、大型スクリーンはなく、ボランティアが広い会場を走り、手話や筆談で伝えている様子が伺えました。

そこで、手話・要約筆記ボランティア養成を行った、とちぎ視聴覚障害者情報センターをたずね、大会までの取り組みについて、経過やご苦労を詳しく聞きました。ろうあ者や難聴者、手話通訳者、要約筆記者に加え、初めて手話や筆談を学ぶ県民ボランティアに支えられていることがわかりました。

滋賀県大会が開催される3年後は、コロナの感染も収まることを願いつつ、AIやICTなど新しい映像・通信技術の導入も予想されます。2025年、滋賀県各地のみなさんごの協力が必要となります。今後「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」情報を発信してまいります。どうぞご注目ください。



限られた人数が分散して視察中



アナウンスを文字で伝えています

### 手話啓発講座について

当法人協会では、手話言語やきこえない・きこえにくい人のことへの理解を広めるために、行政をはじめ、職場での手話研修や小・中学校など教育機関の手話体験講座などそれぞれの要望に応じて、講師を派遣しています。

例えば、「子どもたちが手話を体験して、コミュニケーションの大切さを学んで欲しい」「きこえない、きこえにくい人が窓口に来たら、どう対応したらいいのか」「会社にきこえない人が入社したので、あいさつなどの手話、接し方を学びたい」など、さまざまな要望が来ています。

障害者差別解消法の制定により聴覚障害者への合理的配慮はどうしたらいいのかなど、特に職場より依頼が増えています。「聞こえない人に出会ったときはどう話したらいいか、コミュニケーション手段を知りたい」など、企画を考えている方は、お気軽に当センターまでにご連絡、ご相談ください。お待ちしております。

## 2022年度 滋賀県手話通訳者・

### 要約筆記者健康管理事業

#### 『健康管理講習会』開催



者で共有することが出来ました。また、健康障害を起こさないための取り組みや検診の意義についても丁寧にお話いただきました。

第二部では理学療法士の森田英昭氏による「健康を守るための運動療法」と題して、頸肩腕障害の予防に役立つストレッチを丁寧に指導していただき、参加者も一緒に体を動かしました。

検診結果が反映され、健康に仕事や活動が出来る環境が整っていくよう、今後も関係者が集う学習の場を大切に継続していきます。

#### 生活訓練事業の目的と 事業内容について

当センターは「いきいき情報教室」の名前で年に5～6回企画しています。

目的は、生活に関する知識を学んだり、聴覚障害者に関する施策について知る場を設けることです。今年度の内容は、びわこみみの里、湖北みみの里、県聴覚障害者災害地域救援本部との共催を企画しています。

また、青年層との計画、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の学習も計画しています。開催方法は、座学だけでなく、調理や防災訓練を取り入れて、身体を動かして実践できるものを取り入れています。開催地域は、皆さんが参加しやすいように湖北や湖東などにも出向いています。



## 2022年度

### 「要約筆記者養成講座」を開催

5月28日（土）、要約筆記者養成講座手書き・パソコンコースを同時開催しました。手書き17名、パソコン11名、計28名でのスタートです。

今年度は一部講義を会場とオンライン受講の選択制、また土曜日講義の実施と初めての試みを取り入れました。今まで平日のみの講座で受講の難しかった就労中、また遠方の方からも申込があり年齢層の幅も広がりました。

講師陣もカメラの前での講義は初

めて。目の前の受講生にも、カメラ

のむこうの受講生にもわかるよう、

講義の進め方に工夫を重ねています。

近年、音声認識など機械による情報

保障が進んでいます。しかし、聴覚

障害を理解した上での情報保障がコ

ミュニケーション支援では欠かせな

いものです。その知識・技術を1年

間かけてこの講座で学びます。

講座期間は5月から来年1月。2

月の統一試験合格を目指します。

# きこえについて相談できます

## きこえの相談事業

滋賀県立聴覚障害者センターでは、聞こえについての相談を受け付けています。

最近テレビの音が大きくなった、会話が聞き取りにくくコミュニケーションが不安だ、補聴器が合わないなどのお悩みに対し、聴力検査の実施、補聴器の適合、語音明瞭度検査、コミュニケーションの悩み事をお聞きするなど、聴覚言語士が丁寧に対応いたします。

70代、80代の方の相談が多く、補聴器を付けているけど聞き取れない不便や、家族やご近所とのコミュニケーションの不安をサポートしています。

また、乳幼児や学童児の親御さん、就職先でお困りの若年層の相談も受け付けています。

相談日は以下のとおりです。

日時	会場	
2022年 7月23日(土)・8月27日(土) 9月24日(土)・10月15日(土)	滋賀県立聴覚障害者センター(草津市)	
2023年 2月25日(土)・3月18日(土) *いずれも 10時~11時~13時~15時~ おひとり45分間		
2022年11月26日(土)		びわこみみの里(守山市)
2023年1月28日(土)		湖北地域で開催予定

相談は無料です 事前予約が必要です、聴覚障害者センターへお問合せください TEL077-561-6111 FAX077-565-6101

## センター行事予定表(7月~9月)

7月	8月	9月
2 手話養成Ⅰ開講式	2 子ども事業	3 手話通訳Ⅰ講義
子ども事業	手話通訳Ⅰ	手話通訳士養成
5 手話トレーニング	3 手話通訳Ⅰ	要約筆記者養成
手話通訳Ⅰ	5 子ども事業	手話通訳Ⅱ
6 手話通訳Ⅰ	6 子ども事業	6 手話トレーニング
9 子ども事業	要約筆記者養成	手話通訳Ⅰ
手話通訳Ⅱ講義	手話通訳Ⅱ	7 手話通訳Ⅰ
要約筆記者養成	7 法人職員合同研修	10 手話現任研修
12 手話通訳Ⅰ	9 要約筆記者養成	13 要約筆記者養成
13 手話通訳Ⅰ	手話通訳Ⅰ	手話通訳Ⅰ
14 要約筆記トレーニング	10 手話通訳Ⅰ	14 手話通訳Ⅰ
16 子ども事業	13 手話通訳Ⅱ	要約筆記トレーニング
要約筆記者養成	17 手話通訳Ⅰ	15 子ども事業
19 手話通訳Ⅰ	23 要約筆記者養成	17 手話通訳Ⅱ講義
20 手話通訳Ⅰ	手話通訳Ⅰ	20 手話通訳Ⅰ
23 きこえの相談	24 手話通訳Ⅰ	子ども事業
手話通訳Ⅰ講義	27 きこえの相談	21 手話通訳Ⅰ
26 要約筆記者養成	手話通訳Ⅰ講義	24 きこえの相談
手話通訳Ⅰ	手話通訳士養成	27 要約筆記者養成
27 手話通訳Ⅰ	手話通訳Ⅱ	手話通訳Ⅰ
30 手話通訳士養成	28 要約筆記登録者研修	28 手話通訳Ⅰ
手話通訳Ⅱ	30 手話通訳Ⅰ	29 子ども事業
	31 手話通訳Ⅱ	

手話通訳Ⅰ昼コース 水曜日、夜コース 火曜日  
予定は変更になる場合があります。

## タツノオトシゴ

私には、京都の東寺の近くにお気に入りの映画館があり、映画館のそばに映画を見る前か後に寄るファストフード店がある。

先日、そのファストフード店で上映時間待ちをしていると、この店では、お見かけしたことのないような後期高齢者のご婦人グループがいらした。ご婦人方は、揃って期間限定エビカツバーガーを召し上がりながら、おしゃべりされている。とっても楽しそう、そして、朝から揚げ物なんて、とってもお元気そうだ。また、コロナウィルスなんてどこ吹く風、である。ご婦人方は、毎月21日に東寺に集合し、お参りして、弘法市を廻り、ここでおしゃべりをするという、ひと月に一度のイベント中のようだ。

高齢になってからの素敵な時間の持ち方に、是非私もあやかりたいと思った。

早速、今後の目標連絡と友人達にLINEした。

(U・K)